

大人の教育観変容過程にみる社会化の基礎的研究： フォーマルな教育経験と童心受容的教育観の葛藤に 着目して

白坂, 正太

<https://hdl.handle.net/2324/1785345>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（教育学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（3）

氏名	白坂 正太			
論文名	大人の教育観変容過程にみる社会化の基礎的研究 —フォーマルな教育経験と童心受容的教育観の葛藤に着目して—			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	吉本 圭一
	副査	九州大学	准教授	岡 幸江
	副査	九州大学	准教授	木村 拓也
	副査	九州大学	教授	南 博文

論文審査の結果の要旨

本論文は、子どもに対する大人の「教育的配慮」を着眼点とし、社会化エージェントの「教育観」から分析枠組みを構築することを目的としたものである。これまでの社会化研究で十分に検討されてこなかった社会化エージェントの葛藤に着目し、「教育的配慮」における子どもの「受容」と「水路づけ」という視点から、大人の「見えない意図」を把握することで、「水路づけ」の視点に含まれる「管理」の視点を明らかにしている。「管理」の視点は、必ずしも子どものための視点ではなく、大人が他者から評価を得るためのものである。一見、「教育」として位置づけられそうである大人の行為の性質を明らかにしたという意味で、教育と社会化を論じる上で、学術的貢献は大きい。分析対象として扱われているデータについても、論文提出者が長期的に参加し得られたものであり、教育社会学領域における実践への寄与を示す事例としても意義深い。よって本論文は博士（教育学）の学位に値するものと認める。

また、本論文について口頭による試験を行い、対象データの妥当性、本研究内での社会化エージェントの位置づけ、本研究結果から示された今後の課題等に関して問うたが、いずれも十分な回答を得たので、最終試験に合格したものと認める。